

平成30年度事業計画

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

1. 事業方針

平成30年度は、平成24年4月1日に一般財団法人に移行して一般財団法人として7年目で、平成28年度で公益目的財産償却が完了して平成29年度から国の監督が終了した。

受託業務として、従来に引き続き一般消費者の安全・安心を確保するため製造業者、輸入業者、販売業者などを対象に、試験・検査業務を実施する。また、日用製品の品質、性能の向上及び安全性の確保を図るための技術指導・相談、安全性に関する調査、研究を行い、新しい商品開発の支援、情報の提供、他の試験・検査機関との事業協力などを通じて、企業などの品質管理体制の充実にに向けた支援業務を積極的に推し進める。

近年海外輸出に関する規格・試験についての問い合わせが見られることから、海外大手の検査機関と連携して、調査・試験・検品対応等を可能としていきたい。

SG検査についても年々減少傾向であり、対応可能な品目を増やしていきたい。

平成20年11月から認証を受けて来た ISO9001 については、平成29年6月1日で ISO9001 の認証を返上したが、システムはそのまま継続運用して品質を保証している。

品質方針として「常に安全性向上を心がけ、関連規格・基準などに則り、または準じて、適時・的確な日用金属製品の試験・検査結果を提供する」を継続して掲げ、業務管理マニュアルとして ISO9001:2015 に則るとともに法令を遵守して試験・検査サービスを実施する。

平成29年度の収支見込みは、事業計画88,400千円に対して推定実績が75,800千円（達成率85.7%）であり、決算では昇給見送り、賞与減額、専務理事の給与カットにより、およそ710万円のマイナスが見込まれる。

平成30年度の事業収入計画は、平成29年度の推定実績から、81,500千円（前年計画比92.2%）を見込み、支出を抑えてほぼトントンの収支を見込む。

2. 個別事業

(1) 依頼検査

イ SGマークロット認証製品

一般財団法人製品安全協会の事業に協力して実施するもので、SGマーク認証業務によるロット認証製品の製品検査を行う。(クッキングヒータ用調理器具、かん切り、油こし器、金属板製なべ、レンジ台付収納庫、高枝ばさみ、回転ハンガー、圧力鍋・釜、アルミニウム板製鍋、バドミントンラケット、非金属製バット、等)

ロ SGマーク型式認証検査(試買検査)

一般財団法人製品安全協会の事業に協力して実施するもので、製造業者などの製品に品質管理が適切に行われ、継続して認証基準に適合した製品を作り続けられる能力があるかどうか検査を行う。また、販売店などで売られているSG認証商品が認証基準を満たしているのか検査も行う。(CH・IH用調理器具、かん切り、油こし器、金属板製なべ、レンジ台付き収納庫、回転ハンガー、高枝ばさみ、圧力鍋・釜、アルミニウム板製鍋、バドミントンラケット、非金属製バット、保温ボトル、等)

ハ 販売商品店舗点検検査

日用金属製品全般について、店舗販売商品の店頭検査、検品依頼を受けた品質検査などを実施する。

(2) 依頼試験

イ 性能試験

製造業者、輸入業者などに対して、納入業者が販売店仕様による性能評価試験結果の提出に関する試験を実施する。

また、製品に関する性能試験、新規商品等に求められる使用上の安全性に対する試験を実施する。

ロ 化学分析試験

製品に対する環境汚染化学物質、鉄材料やステンレス鋼試料中の化学成分の種類や材質等を解析する。

また、大阪事業所において輸入品の通関に必要な抜き取り業務を行う。

ハ 苦情商品発生原因究明解析試験

事故品を基に原因物質・原因究明のための分析、測定を行い、現状把握、原因究明の解析にあたる。事故品が消失した場合には、その使用状況(現状把握)などの調査結果をもとに、事故同等品を入手し、製品、部品、材料などの性質、材質分析及び各種試験を行い、事故再現性試験を実施する。

ニ 日用製品の品質保証・管理・性能及び安全性等に関する電話・メール・面談及び測定器・観察機器を用いた技術相談・指導を行うとともに、技術的な調査研究や情報提供を実施する。また、各種の講習会・検討会を必要に応じて随時計画する。

表1 事業収入（依頼検査・試験手数料分）

年度		平成29年度事業計画 (A) (千円)	平成29年度推定実績 (B) (千円)	平成30年度事業計画 (C) (千円)	平成29年度計画比 (%) (C) / (A)	平成29年度推定実績比 (%) (C) / (B)	
項目							
依頼検査	SGマーク ロット認証 製品検査	燕	15,900	15,700	15,700	98.7	100.0
		大阪	3,500	3,300	3,300	94.3	100.0
		(小計)	19,400	19,000	19,000	97.9	100.0
	SG・PSC型式認証 (工場認定・試買)		1,830	2,000	2,000	109.3	100.0
	SG・PSCロット認証 (IH・缶切等7品)		7,000	5,300	6,000	85.7	113.2
	店舗・販売 商品 店舗点検	燕	30	0	0	0	100.0
		大阪	900	1,000	1,000	111.1	100.0
		(小計)	930	1,000	1,000	111.1	100.0
	出張料		940	800	800	85.1	100.0
	小計		30,100	28,100	28,800	95.7	102.5
依頼試験	一般性能関係		48,500	40,000	45,000	82.8	92.8
	化学分析	燕	2,700	2,600	2,600	96.3	100.0
		大阪	1,800	1,300	1,300	72.2	100.0
		(小計)	4,500	3,900	3,900	86.7	100.0
	クレーム関係		4,400	3,100	3,100	70.5	100.0
	運送料		900	700	700	77.8	100.0
小計		53,330	47,700	52,700	98.8	110.5	
合計		88,400	75,800	81,500	92.2	107.5	

3. 人員計画・会議計画

イ 役職員の増減計画

表2 役職員の増減 (単位：人)

区別		性別	平成29年度 末現在	減員退職	増員新任	平成30年度 計画
役員	常勤	男	1	0	0	1
	非常勤	男	3	0	0	3
職員		男	7	0	0	7
		女	5	0	0	5
顧問 (非常勤)		男	1	1	0	0
合計			17	1	0	16

ロ 役職員の事務所配置計画

表3 役職員の事務所配置 (単位：人)

区別	性別	燕事業所	大阪事業所	計
常勤理事	男	1	0	1
職員		男	1	7
		女	0	5
顧問 (非常勤)	男	0	0	0
計		12	1	13

ハ 会議及び開催回数

1. 理事会 (役員会) 年2回 (定例3・5月) 以上
2. 評議員会 年2回 (定例3・5月) 以上
3. 運営会議 毎月1回
4. マネジメントレビュー 年1回 (定期2月) 以上

以上